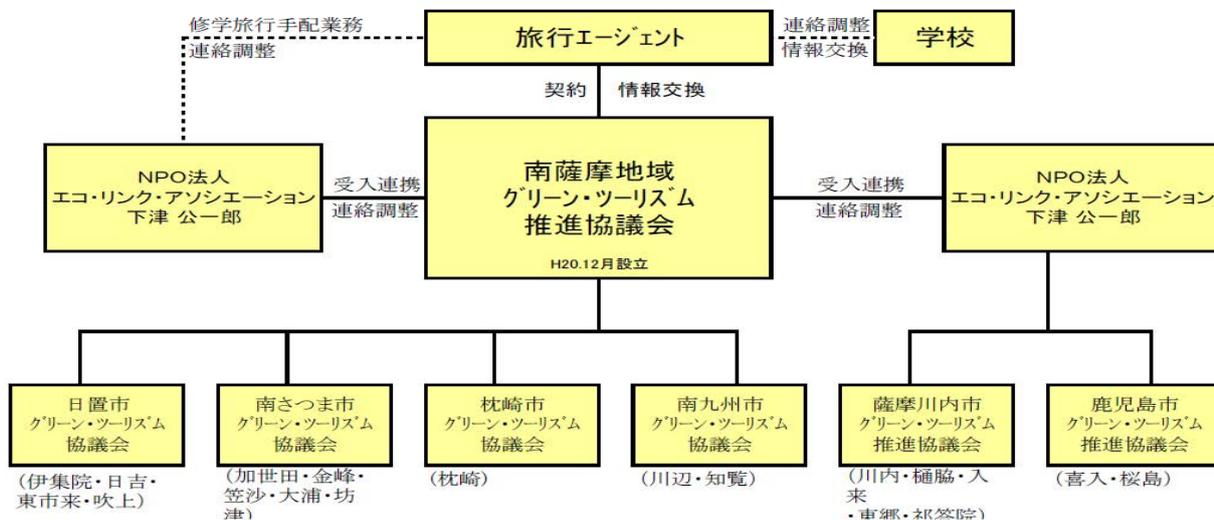


里地里山の保全・活用の取組における課題と技術的方策等

|               |  |
|---------------|--|
| 分類            | (地域レベルでの取組基盤の整備)協働と持続性確保のための枠組み・体制の整備  |
| 手法名           | 地域の所得向上と生きがい創出をめざすエコツーリズムの推進と体制づくり   |
| 主体            | 鹿児島県、NPO法人エコ・リンク・アソシエーション  |
| 背景<br>(地域の課題) | 南薩地域では過疎化や高齢化がすすみ、農林水産業の停滞などのなかで地域活力の低下が深刻な問題となっている。都市との交流事業として、エコツーリズムに取り組む地域が増えているが、地域の自然と人材を活用し、地域の雇用創出と住民の生きがい形成につなげるためには、多くの農山漁村の人々に関われる体制づくりが必要である。  |
| 手法/方策の詳細      | <p>NPO法人エコ・リンク・アソシエーションでは、南薩地域の森川里海を舞台とした自然学校・民泊型修学旅行の企画・運営を行うとともに、各地の受入体制構築、プログラム企画、地元のコーディネートなどの支援を鹿児島県とともにやっている。</p> <p>目標を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農山漁村地域にすでにある資源を、地域の人の知恵で有効に活用。</li> <li>・地域の所得の向上と、住民の活性化が図られる。</li> <li>・体験指導者となる高齢者に生きがいを与えられる。</li> </ul> <p>とした上で、地域全体としてグリーン・ツーリズム等の受け入れができるよう、以下の取組を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域において都市住民との交流を行う活動主体としての組織の育成・強化</li> <li>・中核となる人材の確保</li> <li>・地域の関係者の合意の下に役割分担を明確化</li> <li>・地域ぐるみで取り組む体制づくり</li> </ul> <p>鹿児島県とエコ・リンク・アソシエーションでは、「南薩地域グリーンツーリズム推進協議会」を設置。その中に、自治会単位での協議会を設立して、海、山、川など、それぞれの特徴的な自然・文化・人的資源を活かしたプログラム開発を行っている。</p> <p>エコ・リンク・アソシエーションは、受入団体の一つであるとともに、各地域の推進協議会立ち上げに協力し、地元のコーディネーター、県内の受入協議会、受入内容(メニュー)、修学旅行の行程等、総合的に把握して南薩地域全体としての体制づくりの事務局を担っている。</p> <p>また県が「鹿児島県における農山漁村生活体験学習に係る取扱指針」、「農山漁村生活体験学習の受入れの手引」を策定。これにより、農家等の受け入れが容易になり、受入数が増加した。</p> |
| 手法・技術的視点      | 各地の受入組織の立ち上げを支援するとともに、その連携により、南薩摩の自然環境やツーリズムプログラムの多様性を確保している。  |

鹿児島県 修学旅行・教育旅行・体験学習 受入体制図

平成21年6月現在



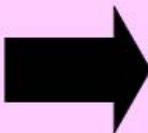
|      |  |
|------|--|
| 参考資料 | 里なび研修会in鹿児島 下津公一郎 NPO法人エコ・リンク・アソシエーション代表理事 |
|------|--|

## 薩摩半島自然学校運営とエコツーリズム推進による雇用創出事業

(事業の新規性若しくは既存事業へ加えた新たな工夫)

団体の自然体験活動に係る既存活動

- ① 森・川・海環境保全活動
- ② 自然体験活動指導者養成研修会による人材育成
- ③ 森林セラピー活動の実施
- ④ 南九州市森林馬事公苑の指定管理業務
- ⑤ 農家民泊型教育旅行の受入



事業の新規性、新たに工夫をした点

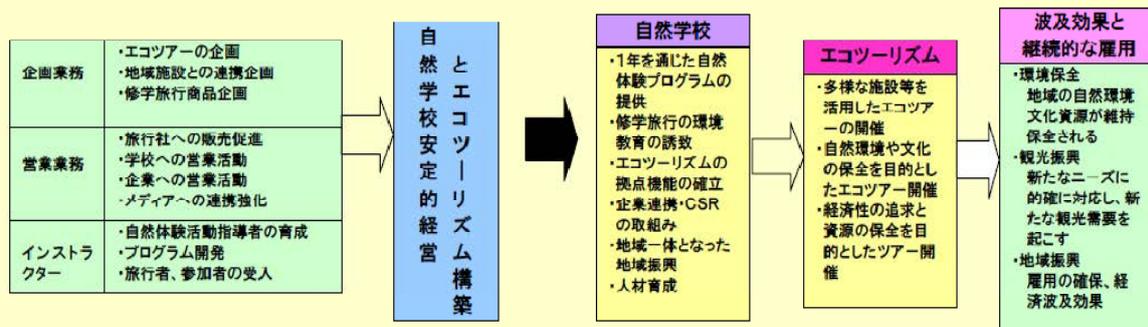
- ① 自然学校のビジネス化による雇用の場の確保
- ② 広域圏が連携した通年のエコツーリズムの事業化
- ③ 企業・メディアと連携した自然学校の運営
- ④ 地域一体となった自然学校推進体制による人材活用
- ⑤ 継続的な環境保全活動のしくみづくり

(地域ニーズ)



事業実施後の展開

継続的な雇用が見込まれる事業展開



自然学校の目的

薩摩半島の地域資源や人材を活用し、人々に自然体験、農林漁業体験の機会を提供するとともに、県土の環境保全及び地域振興を図ります。

自然学校の事業内容

- ・エコツアーの開催(薩摩半島の森・川・海をつなぐ環境学習プログラム)
- ・森の幼稚園の開設(地域の保育園、幼稚園と連携した森の幼稚園を推進)
- ・自然体験活動の人材育成
- ・地域資源の調査・発掘と地域振興の推進
- ・農林漁業の体験プログラム開発と活用事業
- ・エコツーリズムによる地域の食の伝承と活用事業
- ・大人のための自然体験教室の実施

自然学校の体制

